

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をモットーに笑顔を大切に、ご利用者様と気楽に安心してもらえるように関わっている。	『笑顔で安心一緒に暮らそう。あなたと私ずつと家族だよ』という開設時から掲げている理念を基に、ご利用者の笑顔、職員の笑顔を大切にしたケアを行っています。また、事業所内にも各所に理念の掲示をしており、理念を意識するように努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物や散歩の途中で挨拶したり、知り合いと合うこともあり、ボランティアさん方から来て頂いたり自分たちから出かけて行ったりと地域との関わりを大切にしている。	地域のお祭りに参加したり、事業所の夏祭りにも地域の方にも参加して頂いています。また、中学生や高校生の体験学習に来ていただいたり、近隣の事業所と交流会を開催するなどして、近隣の方々とは日常的に交流し、馴染みの関係ができています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の夏休みボランティアや、職場体験学習の方を受け入れ、利用者様と交流される中で理解していただける様にしている。又職員全員がサポーター研修を受けて日々仕事の中でも実践しご家族や親戚の方にも説明などしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回すべての利用者についての現状報告をし、日々の様子が解って頂ける様に行事内容なども写真で説明している。又市の職員やご家族様、ご近所様との意見交換もしている。内容は議事録として職員に開示している。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、民生委員や近隣の住民、市担当者や地域包括支援センター職員、ご家族代表から出席してもらっています。会議で頂いた意見はしっかり受け止めて向上するように努力しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	認定調査時や運営推進会議で利用者さんの様子や施設の環境など見て頂いている。地域ケア会議や区分別ケア会議でも現況報告をし協力頂ける様にしている。	市の担当者には運営推進会議にも参加していただいております。いつもアドバイス頂いているほか、市主催の地域ケア会議や区分別ケア会議にも出席しており、いつでも気軽に相談しあえる関係にあります。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを心がけている。徘徊される方や、歩行時介助が必要な方には音で職員が気づけるようにし、取り組んでいる。	実際のご利用者の徘徊に対してのカンファレンスを行い、対応方法の周知徹底をしているほか、言葉による抑制についても確認するなど職員全員で理解を深めています。	
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法について学べる機会があれば、積極的に参加したく思っている。日々意識しながらケアに努め、少しでも疑問に思うことは話し合う様になっている。	管理者・職員は、グループホームの密室性が虐待につながる可能性をよく理解しており、マニュアルを整備し、新人研修にて虐待防止に関する研修を行ない、防止に取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度については研修会で学んだ程度ですが今後研修の場があれば職員が参加できるようにし、必要とされる方への支援が出来る様に努めていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に見学に来て頂きパンフレットに添って、施設内の案内をしたり、利用者様の様子なども説明し、可能な時には、お話などとして頂き雰囲気を体感して頂いている。又実際の契約の場では契約書に添って十分説明させて頂き不明な点がないか等を確認し、理解納得を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見投書箱を用意しているが中々なく、面会時に直接ご家族とお話しさせて頂いたり電話での状況説明をする時もある。又運営推進会議に出席いただき話をさせて頂いたり、聞いて頂いている。	毎月のお手紙や事業所の広報もお送りし、情報提供を行っているほか、ホームの夏祭りにはご家族にも参加の案内をお送りし参加していただき、意見をいただけるよう場としています。苦情などは寄せられていませんが、玄関にご意見箱も設置し、面会時に確認したご家族の要望を実際に活かしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングの場や、改善提案書を書面で提出し、管理者会議で検討、採用されれば報奨金が貰え、提案も即実行されている。	各ユニットにて毎月ミーティングを行い、意見を吸い上げるようにしているほか、社長、管理者も現場で業務を実際に行う中で、職員とも業務の中で意見交換を行ない、対応するようにしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員に声をかけて、話易い環境を作ってくれたり、無理のない労働時間や、無理な仕事が決して無い様な状況が出来る様に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員同士で話し合ったり助け合ったりと日々実践出来ていると思う。新人職員へのトレーニングは特に積極的に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議、区分別ケア会議、3魚沼グループホーム連絡会、市内グループホーム交流会を通じて交流し実践している。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安状態を出来るだけ早く取り除いてもらうため、本人の小さな喧嘩や困っていることを聞き、それについて職員会議の場で話し合いサービスを行う様にしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面接時や契約の際に、ご家族様ともじっくり話し合いをさせていただき、ご家族様の求める事や要望を聞き、ご利用者様の様子等意見を共有し合い関係を築ける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様との十分な話し合いをして、不安なく安心できる支援内容でケアプランを作成し、ゆったりとした対応の中でご本人様にとって必要なサービスを追加しながら支援できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の性格などを知ることで、声をかけて一緒に日々の生活を楽しんで頂ける様に、出来る事は、お手伝いして頂いたり、職員の知らないことを知っていたりするので教えてもらったり、お互いが助け合って感謝の気持ちを伝え支え合う関係づくりを目指している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月その月の様子をお手紙でお届けし、面会時には、健康面について受診時の先生のお話を伝え、可能な時にはご家族様付き添いで受診いただき情報を伝えて頂いたりしている。	事業所広報の「あったか通信」と担当職員が作成するお手紙を毎月送付しているほか、日頃からよくご家族とコミュニケーションが取れており、外出・受診の支援もご家族の協力をいただくなど、一緒に支えあうことができるよう関係づくりに努めています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の、馴染みの美容室や、地域のお店などに一緒に出掛けお茶を飲んだり買い物したり、時にはラーメン屋さんなどに同行しお店の方や地域の方と懐かしい昔話を楽しんだり、これまでの関係を大切にしている。	親族の方に面会に出かけたり、山菜取りに出かけたり、馴染みの美容室へ出かけたり、ご自宅が気になる方には連れて行ってあげたりと今までの関係継続支援に努めています。また、ご家族にも協力して頂き、外食に出かけたり、一緒に温泉へ出かけたりもしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席などに配慮し楽しく会話できるようにしている。又サークル活動や交流会等でご利用者様が大きな声で笑って楽しく過ごすことが出来るよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院が長引き退去された方なども、その場でサービスが終わるのではなく、社長やケアマネがご本人様ご家族様と話し合い、出来るだけご希望に添える様にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様の思いや、要望に耳を傾け、出来るだけ添える様に支援している。難しい問題などは職員間で話し合い、ご本人様に合ったサービス内容で支援している。	散歩に出かけたい方、自宅へ行きたい方、畑をしたい方、ご本人様が話してくれたり、訴えてくる希望にそえるように日々の生活の中で聞こえてくる会話なども耳を傾けて把握するようになっています。また、センター方式の書式を使用し、日々の生活のなかで得た情報を職員間で共有し、支援できるようにしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報フェイスシートだけでは分からない事もありご家族様等身内の方が面会に来られた際などに情報を聞き把握するように努めている。	事前面接の際にご家族やご本人に聞きながら情報を集めたり、入居前のケアマネに教えていただいたり、面会に来ていただいた友人から教えてもらったりと情報の把握に努力しています。また、定期的に情報の更新の機会も設けており、職員間でも情報共有できるように努めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援経過記録に、ご本人様のつぶやきの声を記すことで、思いを知ることが出来、関わり記録や、バイタル、排泄面など記録されておりわかりやすく共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中からご本人様の声を聴いたり職員の申し送りや支援記録の確認。毎月一人ずつセンター方式を行い暮らしやすさなどの再確認をし、3か月に1回づつのモニタリングで反映している。	毎月の会議にてモニタリングを行い、3ヶ月に1回は全てのご利用者がモニタリングできるようになっています。ご家族の要望も確認し、プランに取り入れ、日々のサービスに繋げています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録には排泄、夜間の様子、生活の様子、ご本人様のつぶやき等記入し、日々の関わりの中で職員が共有して活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人暮らしだったため、自宅に行きたくて来たいが、足が不自由で行くことが出来ないご利用者様があり、職員間で話し合い、必要時に、必要な荷物を取りに行くことが出来る様に対応するなど、どんな状況やニーズにも対応できるように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行きつけの美容院、園芸店、親戚、近所のお店屋さん等、馴染みの地域へ臨機応変に出かけることが出来る支援を実践し、地域とのつながりを大切にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々にかかりつけ医があるが、協力医療機関として連携している機関には、受診表に本人の状態を記入し、受診前に提出し、それも参考にして診察頂いている。(出来るだけ、ご利用者が先生と話して安心頂ける様に支援している。)冬期間は往診で対応頂いている。	そわんの協力医については職員が受診支援をしています。協力医以外の受診は基本にご家族にお願いしています。医療機関には受診連絡表を渡し、情報提供を行なっています。冬期間は往診に来ていただいております。連携を図りながら対応しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者様の状態変化の際には、FAXで状況をお伝えし、指示を頂き、診察が必要な場合は受診をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様を通じて様子をうかがったり、病院の地域連携室と連絡を取り合っている。また都合の付く範囲でお見舞いに出かけご利用者様から安心頂ける様に支援している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化になってきた場合は、主治医、家族、職員でカンファレンスをして、今後必要な治療方法についてなど方針の共有を図れる場を設けている。	契約段階で管理者は、ターミナルまで支援することを前提としたホームであることを伝え、看取りの指針やマニュアルを整備しています。また、ホームでできること、できないことを明確に示し、ご利用者の状態に応じて主治医、ご家族とその都度話し合いを行っています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回の普通救命講習をうけ、気持ちを新たに对应出来る様に備えている。ヒヤリハット、ドッキリ記録をもとにして職員会議の場で話し合って共有している。	毎年1回は全職員が普通救命講習を受けており、急変時に適切な初期対応ができるようにしています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行い非常口や防火扉の場所など再確認し、安全に避難できるか等を確認し訓練している。非常食や衛生用品なども年3回の確認をし、必要なものは入れ替えをしている。	避難訓練を年2回実施し、運営推進会議に参加してもらっている近所の方々には非常時の際の協力を依頼しております。また、非常用の食品についても年に3回は点検しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者のプライドを傷つけないように、気持ちや様子に注意しながら、さりげない言葉かけをしている。	広報誌への写真の掲載は入居の際に同意を得てから行なわれており、声かけも方言を使用してもきつい言葉にならないように配慮し、支援が行なわれています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけご本人様が決定できる様に誘導し、一緒に考えたり希望を話し易いように安心できる声掛けに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の希望に、どうしてもその場ですぐ対応できない事もありますが、職員間で話し合い出来るだけ希望に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	さりげなく服をほめながら着替えの介助をしたり、蒸しタオルで顔拭きなども支援している。美容院や買い物など行きたいと声が掛った時には同行し支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度が出来る方には下ごしらえなど一緒にして頂いています。楽しく食べていただくために食器選びや盛り付けにも工夫し支援している。(笹団子やチマキ、おはぎなども作ったり、お誕生会のケーキなど協力し合って作っている。)	ご利用者の能力に応じて調理や味付け、後片付けなどにも参加していただいています。また、誕生日には希望食を取り入れたり、バーベキューを行ったり、個々のご利用者の要望に応じて外食支援を行なうなどの対応もとっています。また、事業所の畑でもピーマンやさつまいもなどの野菜をつかっており、収穫はご利用者の楽しみとなっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎食記録し、主治医受診の際など目安となるようにしている。特に体調が良くないときなどは水分補給についても記録し補給できるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの研修を受け、義歯洗浄の仕方を習得し実践している。食後や外出後等紅茶でうがいをしている。昼食夕食の前には口腔ケア体操を毎日行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを掴み、綿パンツに切り替えたり、出来るだけトイレで一部介助でも排泄が可能になるように、根気強く声をかけながら自立に向けた支援をしている。	必要な方のみ排泄チェックを行ない、一人ひとりに合わせた適切な誘導、支援をしており、職員のさり気ない見守りや声かけで気持ちよくできています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医との話し合いで下剤を処方して頂いたり、お茶、ヤクルト、野菜等を多くとるようにして便秘予防に努めている。又コンニャク等の献立も取り入れてたり、運動不足にならないように支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	何時でも本人の希望で入浴は出来るが、入浴日として目安も設けている。ご本人様が拒むときなどは無理な対応はせず、1対1で対話を楽しんで頂きながら入浴できるよう支援している。	毎日入浴は可能な状態になっており、入りたい方には毎日でも入ってもらっています。入浴を嫌がる方には声かけのタイミングを変えたり、同性介助を行うなどして入浴をしていただけるように努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温管理に留意しながら、気持ちよく休んで頂くために努めている。一人では不安で休めないご利用者様には和敷の場にて職員の気配を感じながら休んで頂いている。夏場にはアイスノンを使用したり、背中にタオルを入れたりして睡眠がとりやすいように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のミスがないように、配薬、服薬と別の職員で確認して支援している。特に新薬が処方されたときなどには副作用について十分調べたうえで職員全員で共有し見守っている。少しでも変化が見られるときには主治医に連絡し確認いただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器拭き、モップかけ、手すり消毒等出来る所を見守りの中で、手助けして頂いている。又かるたの読み手や、貼り絵作りなどして頂いている。季節季節にはチマキ作りや、団子づくり、おはぎを作ったり、菖蒲湯やゆず湯なども入って頂き気分転換できるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お花見や、お弁当持参でのピクニックに出かけたり、自宅方面へのドライブをしたり、洋服など一緒に買い物したりしている。8月にはそわん祭りを行って、ご家族さまや地域の方々をお招きして盛大に行っている。	日常的にご利用者と一緒に近くのスーパーに食材の買物に出かけているほか、季節に合わせてお花見やあじさい見学、ぶどう狩りにも出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行きたいと要望があるときは、話を聞きながらご本人様へ預かっているお金を渡して一緒に買い物に出かけ支払時の支援などを行っている。そわん祭りでは駄菓子屋さんを開店し、ご利用者様が自分で選んで買い物できるコーナーも用意している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけてみたいと話があるときは、ダイヤルを回して相手方に一声かけてから、ご本人様からお話し頂いている。又携帯電話を持っている方には使い方などサポートしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	夏場エアコンや扇風機の風が嫌と言われる方もあるが、その通りにはできないので風の向き、風の強さなど調整し対応している。トイレの臭気が気にならないようお茶を煎って臭気消しをしたりしている。出窓にはグリーン鉢や切り花を飾り季節感を楽しんでいる。花壇には市の花いっぱい運動に参加して花苗を植えて楽しんでいる。	全体的に木材を取り入れた温かみのある内装になっており、飾られている写真や装飾品も家庭的です。食堂のテーブルも一般家庭と同様のものを使用しており、季節の花も飾るなどして、居心地のよいリビングになっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂でかるた取りや百人一首、テレビ鑑賞(魚沼芸能、歌謡ショー等)週1回ユニット移動でサークル活動をしたり月1回は会議室にて交流会も楽しんでいる。時々サンルームでお茶会もしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮	居室には、ベッドやテレビ、コタツなど、自宅か		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	日でも使用していたテーブルや椅子、TV、小筆筒、炬燵、お仏壇等をおき、ご家族様の写真や行事の写真、誕生会の色紙プレゼントなど飾って楽しんでいる。	ら持ち込んでもらっています。また、ホームでの写真や家族の写真、カレンダーを飾るなどして、その人らしい部屋作りの工夫をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	2F,3F、トイレ等には張り紙をし分かるように目印をしている。階段からの昇降は転落のリスクが大きく安全が確保できないのでドアを開けるとチャイムが鳴るようにして目配り気配りしている。(3Fでの様子はモニターでも確認できるようにしている。)		